

資料4. 流域治水の自分事化とりまとめ(案)

国土交通省 近畿地方整備局

猪名川河川事務所

令和6年2月29日



淀川水系流域治水協議会 猪名川分会

流域にも視野を広げる
(自分のためにも、みんなのためにも)

流域治水の広報

○広報誌で水害・土砂災害に関する啓発活動



教育活動

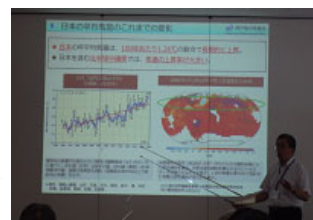
○小・中学校と連携した防災教育
○地元中学生を対象とした一庫ダムでの就労体験



○小・中学校と連携した防災教育



○役場職員を対象とした出前講座



リスク情報等の提供

○アプリによる列車の運行情報や走行位置の提供



訓練活動

○実践的な水害避難訓練
○「1.17は忘れない」地域防災訓練



計画策定

○要配慮者利用施設における避難確保計画作成・訓練実施の支援

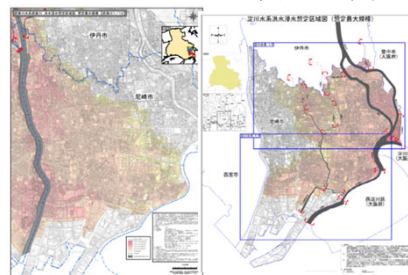


○消防団と連携した防災訓練



6.18 事前防災で被害最小限に
市消防本部と市消防団が合同で、水防訓練を猪名川河川防災ステーションで実施。地域に密着した消防団と連携し、市民の安全につなげます。

○洪水浸水想定区域図及び氾濫シミュレーションの公表及び改定



○河川空間の利活用を通じた意識醸成
(川の日イベントを実施)



河川に親しみを抱く取組【川の日写真コンクール】

水防活動の支援

○災害対策用機械の操作説明、操作訓練



○マイタイムラインの作成・支援



①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動を創出する

③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人・企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

取り組み・主対象	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
①知る機会を増やす ◎水災害、流域治水の広報 地域 個人 企業・団体	ホームページで流域治水の取組状況を発信			
	コミュニティ FM活用	● ● 河川空間の利活用を通じた意識醸成（川の日にイベントを実施）		
	洪水リスク情報の周知（ホームページ、リーフレット配布等）			
	河川の防災情報（水位、河川カメラ等）の充実化、活用の周知、操作説明動画のyoutube配信			
	デジタルサイネージを利用した啓発活動			
	家庭内備蓄や防災知識に係る周知PR・防災情報便の送付			
	広報誌等による水害・土砂災害の啓発			
	地方自治体役所にてチラシの配布（5カ国語）			
	緊急放流と事前放流について、ダム管理所の広報誌に掲載 ● ● 放流警報訓練等の実施を事前にチラシ配布と自治体の広報誌にて周知 治山事業及び森林の多面的機能についてパネル展示			
◎連携活動 地域 個人 企業・団体	外部イベントに合わせたパネル展示による一庫ダムの役割等の紹介			
	メディアとの交流会 ● ● 神崎川流域防災訓練で協定締結事業者と連携内容：給電車両の展示 ● ● 少路校区防災訓練で協定締結事業者と連携内容：給電車両の展示 ● ●			

取り組み・主対象		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期		
②自分事と捉えることを促す	◎リスク情報等の提供 地域 個人 企業・団体	マイ・タイムライン作成支援ツールの作成・公表					
		多段階の浸水想定図・水害リスクマップの作成・公表					
		川の防災情報の提供					
		洪水浸水想定区域図及び氾濫シミュレーションの公表及び改定					
		河川水位・河川カメラの設置・公表					
		●	●	●	関係機関への出水に関する通知・情報提供 HP及びX（旧ツイッター）により出水時情報提供 警報・サイレン吹鳴による一般への周知		
	◎教育活動 企業・団体	小中学校における防災教育					
		自主防災組織等からの依頼による防災講話					
		一庫ダム見学会を利用し、ダムの役割等を説明					
	◎訓練活動 地域 個人	関係市町と連携した水防訓練	●				
		随時：地域訓練の支援					
		ハザードマップの周知・啓発					
		放流警報訓練（サイレン吹鳴）	●	防災総合訓練	●	実践的な水害避難訓練（園田地区自主防災会）	●
		消防団との連携した水防訓練					
		まるとまちごとハザードマップ（園田地区周辺）周知					

資料4 P4

取り組み・主対象	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
③ 行動を誘発する ◎計画策定 地域 個人 企業・団体	特定都市河川の指定及び流域水害対策計画の策定に向けた検討・調整			
	広域避難計画作成を支援			
	タイムライン（マイ・タイムライン、マイ避難カード等）の作成・支援			
	立地適正化計画の見直し（防災指針の追加）			
	野田校区で防災マップ作成			
	要配慮者施設避難確保計画の更新及び訓練の啓発			
◎水災害対策の支援 地域 個人 企業・団体	大規模工場等（企業）への啓発活動を実施（兵庫県津波一斉避難訓練に併せ）			
◎水防活動の支援 地域 個人 企業・団体	職員・消防団向けの水防工法訓練を実施			
	防災活動拠点の整備と水防資機材等の配備			
	河川災害応急復旧業務の協定締結			
	自治体を通じた出水に関する啓発			

淀川水系流域治水協議会 猪名川分会（国土交通省）

流域にも視野を広げる（自分のためにも、みんなのためにも）

教育活動

○小学校と連携した防災教育を支援



訓練活動

○マイ・タイムライン作成講習会を実施



志賀河川レンジャーからの説明状況

水防活動の支援

○災害対策用機械の操作説明、操作訓練



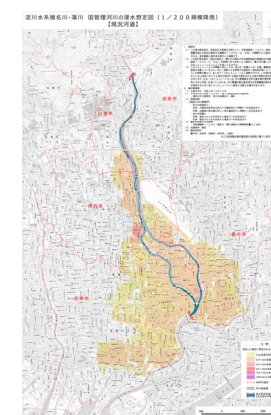
流域治水の広報

○事務所HPで、流域治水の取組状況を発信



リスク情報等の提供

○マイ・タイムライン作成支援ツールの作成・公表
○多段階の浸水想定図・水害リスクマップの作成・公表
○川の防災情報の提供



計画策定

○特定都市河川指定及び流域水害対策計画策定に向けた検討・調整
○広域避難計画の作成を支援
○タイムラインの作成・支援

○コミュニティFMの活用による情報発信

①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動の状況が創出する

③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人・企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

淀川水系流域治水協議会 猪名川分会（大阪府）

流域にも視野を広げる（自分のためにも、みんなのためにも）

流域治水の広報

- 流域治水の取組の周知（ホームページ）
- 洪水リスク情報の周知（ホームページ、リーフレット配布等）
- 河川の防災情報（水位、河川カメラ等）の充実化、活用の周知、操作説明動画のyoutube配信



- 河川空間の利活用を通じた意識醸成（川の日イベントを実施）



河川に親しみを抱いていただく取組

【川の日写真コンクール】

教育活動

- 小中学校への出前講座などによる防災教育の推進

リスク情報等の提供

- ハザードマップの作成の支援
- 雨水出水浸水想定区域図作成の支援
- リスク情報の解説と周知依頼（市町村農業委員会事務局会議、宅地防災技術研修会）
- 農地転用者向けリスク周知チラシを作成・配布

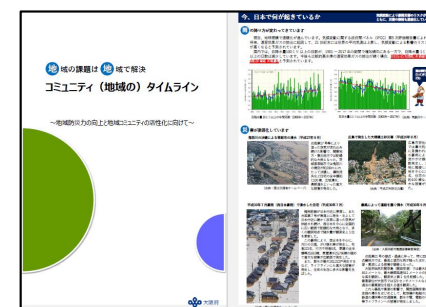


計画策定

- 要配慮者利用施設における避難確保計画作成・訓練実施の支援



- 地域（コミュニティ）単位タイムラインの作成支援



①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動を創出する

③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

淀川水系流域治水協議会 猪名川分会（兵庫県）

流域にも視野を広げる（自分のためにも、みんなのためにも）

流域治水の広報

- ラジオ関西での広報
- 県広報誌による周知
- 普及啓発イベントの実施



教育活動

- ひょうご防災リーダー研修の実施
- 防災教育資料集の作成・活用の周知
- 出前講座による防災教育の推進

防災教育資料集



リスク情報等の提供

- 河川の防災情報（水位、河川カメラ等）の充実化、活用の周知
- リスク情報の周知



訓練活動

- 水防技術講習会の実施（1回／年 約60名）



計画策定

- マイ避難カードの作成支援



①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動を創出する。

③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

淀川水系流域治水協議会 猪名川分会（豊中市）

流域にも視野を広げる（自分のためにも、みんなのためにも）

教育活動

○小中学校における水災害も含めた防災教育の実施（1回、327人）



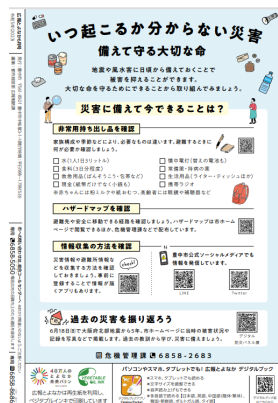
訓練活動

○実践的な水害に対する避難訓練を実施（1回、500人）



流域治水の広報

○市報などで、水害に関する有益情報を発信（1回※6月）



リスク情報等の提供

○洪水浸水想定区域図の公表

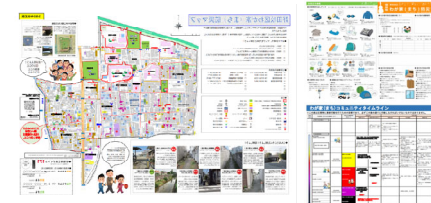


○とよなか防災アドバイザー派遣実績：30回、750人



計画策定

○立地適正化計画の見直し（防災指針の追加）
○マイタイムラインの作成・支援
○コミュニティタイムラインの作成・支援



①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動を創出する

③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

淀川水系流域治水協議会 猪名川分会（尼崎市）

流域にも視野を広げる（自分のためにも、みんなのためにも）

教育活動

- 小中学校における防災教育（立花西小・上坂部小）（2回）



流域治水の広報

- 市報などで、水害に関する有益情報を発信（3回）

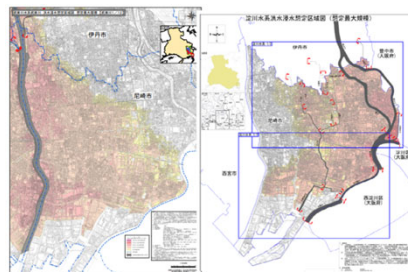


- 「防災情報伝達システム」を活用した家庭内備蓄や防災に関する周知PR



リスク情報等の提供

- 洪水浸水想定区域図及び氾濫シミュレーションの公表及び改定



計画策定

- マイ避難カードの作成・支援（市出前講座等を活用し、適宜）

訓練活動

- 実践的な水害避難訓練（園田地区自主防災会）



- 防災総合訓練



- 「1.17は忘れない」地域防災訓練



- 洪水ハザードマップの促進及び周知
○まるごとまちごとハザードマップ（園田地区周辺）の周知



水防活動の支援

- 職員・消防団向けの水防工法訓練を実施（1回/年）



水災害対策の支援

- 大規模工場等（企業）への啓発活動を実施（兵庫県津波一斉避難訓練に併せ）



①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動を創出す。

③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人・企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

淀川水系流域治水協議会 猪名川分会（伊丹市）

流域にも視野を広げる
（自分のためにも、みんなのためにも）

流域治水の広報

- 市報などで、水害に関する有益情報を発信



リスク情報等の提供

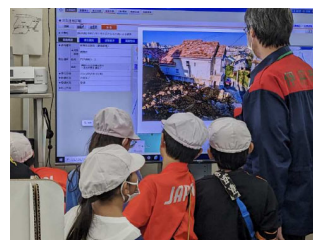
- 洪水浸水想定区域図及び氾濫シミュレーションの公表及び改定
- コミュニティFMの活用による避難行動の情報発信



- 洪水ハザードマップの促進及び周知
- まるごとまちごとハザードマップの周知

教育活動

- 小中学校における水災害も含めた防災教育の実施



計画策定

- 水防計画の修正
- タイムラインの作成・支援

水災害対策の支援

- まちづくり出前講にて市内団体に対して水害意識の向上を啓発



訓練活動

- 実践的な水害に対する水防図上訓練を実施

水防活動の支援

- 水防資機材等の老朽化、不足解消を推進



①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動の状況を生み出す。

③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人・企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

淀川水系流域治水協議会 猪名川分会（川西市）

流域にも視野を広げる（自分のためにも、みんなのためにも）

流域治水の広報

- 広報誌で水害・土砂災害に関する啓発活動を実施（1回6月号）



教育活動・計画策定

- 自主防災組織等からの依頼による防災講話、マイ避難カードの作成啓発（21回、585人）



訓練活動

- ハザードマップの周知
○消防団と連携した水防訓練（1回、約100名）



事前防災で被害最小限に
市消防本部と市消防団が合同で、水防訓練を猪名川河川防災ステーションで実施。地域に密着した消防団と連携し、市民の安全につなげます。

リスク情報等の提供

- 避難に関する情報の周知（気象・防災情報の提供）



①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動状況を生み出す。

③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人・企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

淀川水系流域治水協議会 猪名川分会（水資源機構）

流域にも視野を広げる
(自分のためにも、みんなのためにも)

流域治水の広報

- 一庫ダムの広報誌にて、緊急放流(異常洪水時防災操作)と事前放流についての啓発活動を実施



- デジタルサイネージを利用してダム放流時に関する啓発活動を実施



連携活動

- 地方自治体等市町主催のイベントでの、パネル展示により、一庫ダムの役割等について紹介



教育活動

- 地元中学生を対象とした一庫ダムでの就労体験



- 地元の教職員組合からの依頼による出前授業でのダムの役割等の説明

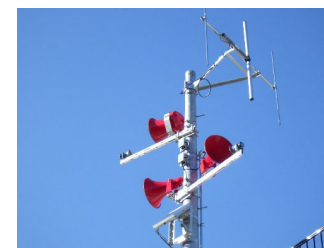


- 地元小学校、一般者等の一庫ダム内部見学会にてダムの役割等を説明



訓練活動

- 職員による放流警報訓練を実施
緊急放流時の警報吹鳴を行うとともに地域住民にチラシを配布し、周知



①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

流域治水に取り組む主体が増える

淀川水系流域治水協議会 猪名川分会（林野庁）

流域にも視野を広げる
(自分のためにも、みんなのためにも)

森林保全の広報

○治山事業及び森林の多面的機能について
パネル展示を実施

①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について
知る機会を増やしていく。

②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がる
きっかけを提供し、行動を促す状況を生み出す。

③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行わ
れるよう、個人・企業・団体の行動を誘発していく。流域治水に取り組む
主体が増える

淀川水系流域治水協議会 猪名川分会（環境省）

 流域にも視野を広げる
（自分のためにも、みんなのためにも）

教育活動

○中学校におけるゲリラ豪雨情報の活用実証授業の実施（7月～11月）

対象：南宇治中学校、黄檗中学校

○X-RAINを活用したゲリラ豪雨発生状況の観察・記録



ワークショップの実施

○風水気24ワークショップの実施（1月23日）

○大規模風水害の接近から直撃・通過までの24時間をリアルに体験することを通じて、風水害発生時に必要な知識を学び、適切な判断や行動ができるプログラム



水難事故の啓蒙活動

- 都賀川水難事故に関する啓蒙活動の検討（展示パネルの作成、啓発パンフレットの作成・配布）
- 人と防災未来センターとの連携を検討中

「とががわ」の2つのすがた

ふだん



ふだんは、水が少なくて、流れはおだやか。おとも子どもも、川の中に入って水あそびができる。

雨がふると



雨がふると、急に水の流れが速くなる。人が歩ける歩道まで水がきて、川の底は見えなくなる。

①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動の状況を生み出す。

③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人・企業・団体の行動を誘発していく。

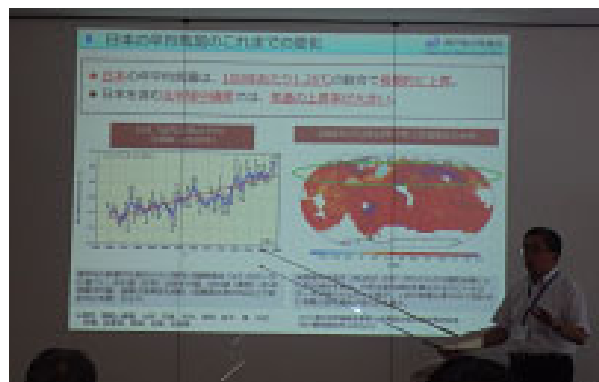
流域治水に取り組む主体が増える

淀川水系流域治水協議会 猪名川分会（気象庁神戸地方気象台）

 流域にも視野を広げる
（自分のためにも、みんなのためにも）

教育活動

 ○尼崎市打ち水イベントでの広報活動
（1回、134人）

 ○自治体職員（宝塚市、猪名川町）を対象とした
出前講座（2回、70人）

 ○宝塚市職員による気象台見学
（2回、11人）


①知る機会を増やす

 水災害のリスクや、流域治水について
知る機会を増やしていく。

②自分事と捉えることを促す

 水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がる
きっかけを提供し、行動創出状況を生み出す。

③行動を誘発する

 水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行わ
れるよう、個人・企業・団体の行動を誘発していく。

 流域治水に取り組む
主体が増える

淀川水系流域治水協議会 猪名川分会（西日本旅客鉄道）

流域にも視野を広げる（自分のためにも、みんなのためにも）

リスク情報等の提供

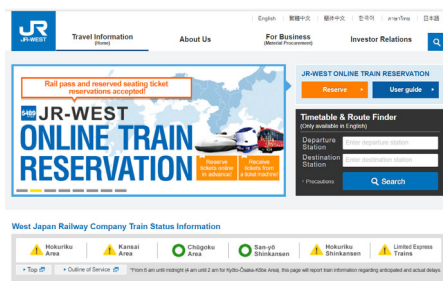
- 計画運休等が見込まれる場合は、SNSやHPにて運行計画を情報提供
- アプリを活用し、列車の運行情報や走行位置等を提供
- 海外からお越しのお客様向けとして、駅頭掲示にQRコードを添付し、多言語表記のホームページによる案内を実施



X(旧Twitter)



運行情報アプリ、WESTER(MaaSアプリ)



多言語での情報提供(HP)

①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動を創出する

③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人・企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える